

力を合わせて取り組む

梅 雨明け間近の6月26日、「第2回大倉ふれあい体育祭」が開催されました。

老いも若きもみんな童心に帰り魚釣りゲームに熱中し、運搬リレーゲームに惜しみない声援を送りました。閉会式が終わり家路に就く参加者から、「とっても楽しかったわ!こんな催しを開いてくれてありがとう!」などといった主催者冥利に尽きるお言葉をいくつもいただきました。

大倉まちづくり協議会では、ふれあい体育祭の他にも防災や交通安全に関わる事業、健康づくりのための



鈴木 啓之(大倉)
【協議会副会長】



事業、花植えやゴミゼロ活動といった美化運動事業などを展開し始めました。そして、少しずつですが大倉地区全体に当協議会の目的が理解され、みんなで大倉地区をより良い地域にしようという方向に歩み始めています。

『まちづくり』や『村おこし』では一般的に住みやすい地域、働きやすい地域の2つの面を育てる事が重要といわれています。つまりメンタル面での高揚と経

済面の活性化です。大倉地区はもともと人情味にあふれ団結心の強い地域性ですので、心のつながりの部分では大丈夫です。

課題は経済面の活性化です。当協議会は経済的な活動に足を踏み込むのは制約があり、事業展開は慎重さが必要ですが、働きやすさという点での問題提起や意見交換、さらには特産物や匠の技の紹介といった広報活動など可能な範囲で参加していく考えです。

◀ふれあい体育祭の様子
(上：狙った絵札を釣り上げる、下：白熱の玉入れ)

まちのあしたをデザインする 市民協働最前線

まちづくり協議会(住民自治協議会という呼び名を用いているところもあり)は、現在市内に20協議会あります。活動内容は、それまでの地域活動を発展させたものや、その土地ならではのアイデアにあふれたものなど、さまざま。それらの活動の一端を、各協議会の皆さんからご紹介いただきます(年1回、順々に各協議会に登場していただきます)。

まちづくり協議会
現場レポート
File 4

小学生と交流グラウンドゴルフ



武田 宏(大戸)
【協議会会長】

東 大戸地区まちづくり協議会の事業の中から、グラウンドゴルフ大会を紹介いたします。グラウンドゴルフは、一部の高齢者クラブなどで開催されていますが、ルールやマナーについてまだ十分に知られていません。そこで、「グラウンドゴルフの基礎知識」の冊子を独自に400部作成し、参加者全員に配布する

ことで理解を深めています。また、当地区では東大戸小学校と連携し、小学生と地区住民がグラウンドゴルフを通じて触れ合う機会を実現しています。平成27年度の実績として、大会や講習会を6回実施し、そのうち4回に小学生が参加しました。小学生の参加については、校長先生から授業の一部として実施してほしい旨の依頼を受け、9時から12時までの間で開催しました。すると後日、先生からこのような謝礼文をいただきました。

「最初は、子どもたちもお年寄りとの接し方やグラウンドゴルフのルールが分からず戸惑っていました。

ですが、熱心に教えてもらい、いつの間にか真剣に聞き入っている様子でした。一緒に過ごすうち、お年寄りへの尊敬の気持ちや接し方を覚え、「お願いします」「ありがとうございました」など、「分かりました」などのコミュニケーションが自然と取れるようになりました。地区住民の皆様からも「夫婦で参加できて最高でした」「楽しかったです。またお願いします」などの声が上がリ、事業の成功を実感しました。

誰でも参加できる楽しいスポーツ、グラウンドゴルフを今後も地域の交流の場として広めていきたいと思っています。



▲念入りの準備体操で大会に臨みます



▲ホールポストにボールを入れるのは意外と難しい?

